



## フィリピンへ行ってきました



### 後藤 学

元豊明市教育長  
前豊明市議会議員

去る7月10日から1週間、藤井忠子理事に随行してRASA-Japanの支援国フィリピンへ行ってきました。

私は、2021年1月の中日新聞で、現地で行う学校建設の寄付を募るクラウドファンディングの記事を見たのをきっかけに、RASAの活動に共感し入会した新会員です。

以来、理事長夫妻やほかの理事から現地のお話を伺ってきましたが、あまりの状況に現地を見たくなくなり、同行させていただいたものです。

今回の訪問の目的は、次年度の食品支援の契約や受給者の家庭訪問と、次期学校建設の打ち合わせでした。

### 貧しくとも明るく助け合う人々

まず、子どもたちの家庭訪問は、7月11・14日、カブヤオ市サウスビル地区25世帯に行いました。現地サポーターのデニス氏が一軒一軒案内してくださり、それぞれの生活実態がよくわかりました。

錆びたトタン屋根の粗末な住まい。炊事・洗濯・風呂などは井戸水。生活排水も垂れ流し状態の不衛生な環境には心が痛みました。



生計も厳しく、妻を亡くした父親が夜働いて子どもたちを育て、シングルマザーの家庭では長男が働いて家計を支える・・・など、それぞれが経済的支援に頼らざるを得ない背景を目の当たりにしました。

そんな中でも、子どもたちは明るく、お年寄りがその面倒をよく見て、何よりも隣近所が一体となって助け合っている姿には、心が暖くなる想いでした。私たち日本人が、いつの間にか忘れてしまった「豊かさ」です。

### 日本にも責任の一端ある

もうひとつの目的、学校建設の打ち合わせは、7月13日にブラカン州のバラグダス小学校を訪問し、ルネ教育長、カルメン校長、建設会社のルーシー氏と行き、建設予定地や校舎の規模、費用などの確認をしました。

学校の先生たちも全員で歓迎してくださり、意見交換ができました。



その中で、授業は校舎不足のため午前と午後、子どもたちを入れ替えざるを得ないことや、職員室・図書室もないこと、仕事の持ち帰りが多いことなど、学校の厳しい状況がわかりました。

私は、今回の訪問まで、フィリピンが日本とほとんど同じくらい小さな国土に、ほぼ同程度の人口を擁する人口大国だとは知りませんでした。

そういう国でありながら政治は貧困で、貧富の格差は絶望的なほど大きく、行く末は甘くないと感じました。

先の戦争でフィリピンを支配した日本にもその責任の一端はある、と感じさせる訪問でした。

7月中旬、下記目的でフィリピンを訪問してまいりました。同行いただいた後藤様には、全て参加していただきました。

期間:7月10日(月)~16日(日) 7日間

目的:①サウスビル I 小学校「食品配付支援」の  
現地次学年度契約の詳細打ち合わせ  
(2023年8月~2024年7月)

②受給児童宅家庭訪問

③学校建設候補地視察(詳細は8頁掲載)

### 「食品配付支援」の現地次学年度契約

昨年末着任の新校長先生他2名と現地スタッフ デニス氏、私達の合計6名で、前学年度と同じ支援を継続することを確認、授業日数の確定後、後日メールにて契約することになりました。

校長先生は、給食支援開始にあたり尽力戴いたアイダ元校長先生と親友で、早速現在オーストラリア在住の彼女に連絡を取ってくださり、TV電話で再会しました。尊敬する彼女と再度対面で繋がったことは、大きな感動でした。

屋外では、保護者を集め「栄養指導イベント」が実施されており、参加しました。カブヤオ市長が同席しており、RASAも紹介していただきました。「成長期の児童にとって必須栄養が摂取できているか」「人の健康維持に栄養知識が必須である」が指導テーマで、肥満で栄養失調と思われる保護者が多く見受けられました。食の知識が健康に直結する話でした。食生活を改善する為、学校が社会教育をも担っていることを知りました。



栄養指導イベント

### 食品配付の受給者宅25件訪問

児童や家族に会い、家庭の諸状況や環境を実際に確かめるため、家庭訪問を2日間行いました。

事前にデニス氏に依頼してパン等の手土産を準備しました。ヘルパー2名とデニス氏の案内で、名簿を

見ながら訪問しました。

道路沿い後方の空き地のあちこちに点在する家は、廃材や文字の書かれた古い鋼板を張り合わせた住まい。空き地にゴミが捨てられ、家の周囲は汚水が溜まった水路が続き、湿った臭いがしました。どの家が誰の家か全然わからないため、人に聞くしかありません。私達を見て集まってきた人々に訪問先を伝えると、暑い中現地まで道なき道を案内してくれました。2日間とも、訪問予定の家を探すのに時間がかかりました。通学の距離は3~4kmと遠く、ここに住んでいる殆どの児童が通学に徒歩1時間かかります。空腹のまま通学するので、欠席しがちなことも納得しました。



受給者宅は、トタン屋根と木切れを打ち付けた小屋のような家で、電気・水道は無く、中は凸凹の土間です。若い母親は乳児から5歳までの4人の子どもを抱え、年に2回しか帰宅しない夫の送金で生活しています。出来るだけ身なりを整えて配付時に受け取りに来ているため、写真と別人のような姿で、最初は彼女と気づかず驚きました。子育ての疲れも見せず、私の思いより幸せそうでした。出来立ての大きいパンをもらった時の嬉しそうな顔！今も残っています。突然の手土産を大事に抱えた子ども達の笑顔を見て、私まで共に喜びを分かち合いました。



父は獄中、母は入院中で、単眼の障害者である83歳の祖父が孫3人を養育



母の帰りを待つ  
きょうだい

その後の訪問先も、殆ど祖父母が孫の面倒をみています。父親の仕事は、不安定な日雇いの建設労働者や農業労働者のようです。

留守宅もあり、隣家に手土産を託した際、近隣住民の様子も知ることができ、受給者世帯とよく似た厳しい環境だと確認しました。



両親を亡くした孫5人を養育する祖母の姿勢に感動

訪問をして、全体的に力強く生きようとする前向きな姿勢だと感じました。祖父母が孫たちの世話をし、両親は収入を得るため、仕事を求め都会で働く分断生活が多く、コロナ禍でこの傾向が強まりました。

農業労働者は炎天下で朝から夕方まで素足で田に入り、1本ずつ手植えで1日500ペソ(約1,300円)を得るが、必要な食事や飲料水を買ひ、残金は200ペソ(約520円)と聞きました。また、建設労働者はヘルメット未着用で素足にゴム草履、作業は機械を使わず、全て人力の重労働です。

都会と田舎、学歴、資格等で給与が決まります。ある程度の学歴や経験がないと、まともな職には就けません。親の貧困が子どもに影響して「貧困の連鎖」が断ち切ることができません。

帰国後、訪問できなかった受給者の皆さんから、「次回訪問時に会えることを楽しみにしています。夏休み中にも食品を受け取れて、本当に喜んでいきます。」と、デニス氏を通してメッセージが届きました。

## 広がる経済格差

1996年APEC(アジア太平洋経済協力)会議マニラ開催決定時に、政府はマニラの線路沿の不法占拠居住者を首都圏周辺のラグナ州他へ強制的に移住させました。田舎には移住者が就ける仕事がなく収入が得られないため、結局また大都市へ働きに出て家族生活は分断し、両親不在で祖父母が孫を育てている実態です。

移住者にとって、単純労働の建設や農作業がこの地域での仕事であります。地域では、賃金が安くてきつい仕事でも取り合いになります。国は最低賃金

法を設定して恩恵を受けているのは大都市とその近辺だけで、地方の貧困層は低賃金のままです。特に長かったパンデミックの影響は、貧困層は依然回復していないと見受けられました。

物価は大幅に上昇しており、カブヤオ市が食品を貧困家庭に配布していると聞きましたが、基準が分からず、RASAの受給者世帯は支援を受けていませんでした。

また、大きなモールに行き、人が多い事に豊かになったかと驚いていると、「冷房が効いていて涼を求めてくる人が殆どで、小さな買い物しかしない。」と、デニス氏が教えてくれました。

経済格差は広がる一方で、ここフィリピンで大資本の企業が牛耳る行き過ぎた資本主義(新自由主義)の弊害が見られ、やはり政治の力が経済と結びついていると実感。社会的に弱い人達の声が政治に反映し、少しでも経済格差が縮小することを願うばかりです。人口は増え続け、街には若者が溢れ、活気が漲り、平日でも日本の祭りのような賑わいです。

このかけ離れた現実を見て、将来危機感を感じたのは私だけではありません。人口増が将来の国力に結び付くのを、肌で感じた次第です。

人と人の繋がり、周りの人々との関係を構築していくことが、生きていく中で根本だと思います。共助の姿勢が欠けているのは、今の日本社会の劣化の原因と痛感しました。近所の人と顔を合わす、声をかける、顔が見えるようにし、互いに問い直してみる努力が必要ではないでしょうか。地域の繋がりが大切で、温かい人間関係がある社会を目指したいです。



# 【食品配付支援】2022学年度(フィリピン) 活動報告

現地2022年学年度(2022年8月下旬～2023年7月上旬)の支援を無事行うことができました。皆様に深く感謝申し上げます。

多くの児童と家族を支援するために、今学年度は前半後半に分け入替を行い、延べ280人に食品を配付しました。物価上昇と円安の影響を受け、厳しい1年となりました。

## 配付食品一覧表 2022年8月～2023年7月

1フィリピンペソ≒2.6円 (前年度 約2.4円)

食品	総数	購入金額	1人当たり		単価	前年度単価
米	13,580 kg	162.6 万円	97 kg	11,611 円	119.7円/kg	111円/kg
卵	26,600 個	48.5 万円	190 個	3,458 円	18.2円/個	13円/個
粉ミルク(33g/袋)	21,280 袋	56.2 万円	152 袋	4,013 円	26.4円/袋	21円/袋
缶詰	7,000 缶	36.7 万円	50 缶	2,625 円	52.5円/缶	52円/缶
インスタントラーメン	4,200 袋	9.1 万円	30 袋	654 円	21.8円/袋	20円/袋
パスタセット(1.7kg)	140 セット	3.8 万円	1 セット	273 円	273.0円/セット	243円/セット
合計		約 316.9 万円	合計	約 22,634 円		

食品は栄養面を最優先に考え、まず米と卵、粉ミルクを購入して、残金で缶詰等を購入しています。物価上昇の影響を受け、缶詰を購入できず、安価のインスタントラーメンが精一杯となりました。

また、契約は現地通貨で立てているため、円安状況下で送金金額は増額していくばかり。魚や肉、豆の入った缶詰を配付しており、栄養状態が懸念されるため、2023年1月の理事会・月例会で、予算内で対応できる2～7月の送金額を月平均約2万円増額する「追加支援」を決議、実施しました。その効果があり、授業日数が少ない4月を除き、缶詰を3～4缶配付することができました。

支援対象児童の保護者は、日雇いや契約労働のため収入が不安定で、無職の方も多くいます。経済発展といわれているフィリピンですが、極貧世帯の多いカブヤオ市サウスビル I 小学校地区はほど遠い現状です。まず、仕事がありません。貧困から脱することができないまま、その日その日を助け合いながら暮らしています。



配付時に写真を撮ることもあり、できる限り親も子ども身なりを整えて受け取りにきます。そのため、写真を見て貧困や栄養障害児と感じないこともあるかと思いますが、実年齢より小さく細い児童が多いです。

また、貧困ゆえ腹持ちのよい米と油、砂糖が多い食生活で、太りすぎの児童や家族もいます。太っている＝裕福ではなく、低身長や痩せすぎと共に太りすぎの原因が栄養不良にあり、必要な栄養素が足りていません。栄養状態と体位の改善を目指すためにも、支援の継続が必須です。6月の理事会・月例会にて夏休み中(7～8月)の支援継続を議決して、現在食品配付を継続しています。

## ◇現地で評価され表彰されました◇

食品配付支援の継続と実績が認められ、表彰を受けました。今年はカブヤオ市教育省に加えて、カブヤオ市があるラグナ州を含めた5州からなるカラバルソン地方で行われた教育サミットにおいても、支援活動に評価をいただきました。大きな授賞式には、RASA現地スタッフ デニス氏が参列して、盾をいただきました。



## RASAさんと手を貸す運動Ⅱの9年



手を貸す運動Ⅱ

代表 佐藤千鶴子

私たちはシーランド神父様を通して2014年よりフィリピンの支援を始め、翌2015年からはRASAさんのサウスビル I 小学校給食の資金支援を開始しました。

最初は50名分150万円でしたが、以後毎年支援を継続し、コロナ禍で食糧パック支援に変わってからも続けさせて頂いています。RASAさんはきめ細かに報告や写真を送って下さるのでとても信頼が出来、私

たちにとって励みにもなります。それに私たちと違ってRASAさんは現地に行き、活動や交渉をなさっています。そこがすごいです。

手を貸す運動Ⅱは今年で10周年になりますが、残念ながらメンバーの減少や高齢化に伴い、今年からは私たちの資金事情に応じた支援額しか出せなくなりました。しかし、こうして9年間、RASAさんの素晴らしい事業に参加できたことを私たちは嬉しく思うと同時に感謝し、私たちと共鳴し合うポリシーで支援活動をなさっているRASAさんと、今後とも一緒に働けることを願っています。

RASAさんが神様に祝福され、多くの人たちに敬愛され、これからもずっとご発展なさいますように！

## 聖心教会ブラジル人共同体 ご支援に感謝！！！！

6月25日(日)豊田スタジアムで「フェスタジュニーナ2023」が開催されました。コロナ禍で4年ぶりの待ちに待たれた開催でした。好天に恵まれ、中部地方中心に広範囲から約3千人を超える人々が集まりました。



老若男女問わず参加者多数のブラジル人最大の集い

RASAはバザー出店メニューを2か月前に決めていた「キーマカレー」から参加主体のブラジル人の方々の嗜好に合わせた方がいいということで、「鶏のから揚げ」に変更しました。仕入れから調理法、販売の工夫、美味しい揚げたてを食べてもらいたいと意気込み、プロに教えてもらったレシピで、26kgの鶏肉を220パック分のから揚げとして販売しました。「きゅうり

の一本漬け」も同時販売。昼になってもお客様が少なく、このまま多くの材料が残ったら？と心配しましたが、13時過ぎにワッとお客様が列をなして待ってくださり、揚げたてを買っていただきました。無事、から揚げ220パックときゅうりの一本漬けを完売できました。どの店も完売で、食べ物が足りなかったそうです。

ブラジル人共同体は今回の収益からRASAへ活動支援金として、なんと20万円を寄付してくださったのです。年に3回くらいこの団体から寄付金をいただき、自国のブラジルでなくフィリピンの人々を支援するRASAを支援いただいているのです。この共同体の方々は、豊田市や名古屋港等で仕事に就かれています。生活にそれほど余裕はないようです。彼等の交流・結束は強く、障害者と健常者も共に家族のように助けあっています。教会の共同体として、信仰に支えられていると思います。

この共同体の神父さまは、「誰にでも出来ることがある。自分の目を見た、助けを必要とする人に愛の手を差し伸べることは、何よりも大切です。できることは誰にでも、必ずあるはずだ。」と、言っておられます。



平針教会信徒の方々や支援者姉妹の販売支援に感謝

## 1. 定時総会を終えて

コロナ禍の収束に伴い諸規制が緩和されたため、6月3日にカトリック平針教会に於いて「第14回定時総会」を開催致しました。理事長以下役員7名と会員3名出席の下、令和4年度の事業と決算の報告及び令和5年度の事業計画・活動予算についての審議を行い、全員の承認を得て総会を無事に終えることが出来ました。(令和4年度活動計算書は次頁に掲載)

## 2. コロナ禍に於ける活動報告

3年以上に渡り国内外で厳しい活動制限を受けましたが、その中でRASAとして何が出来るかスタッフ一同で知恵を絞り、柱となる3事業遂行に向けて邁進致しました。

### ①学校建設活動

建設資金確保に向けクラウドファンディングに取り組み目標金額の500万円を獲得し、昨年7月新校舎の竣工にこぎ着けました。毎年新校舎を1棟建設したいという目標は叶いませんでしたが、厳しい条件下で出来る限りの結果を出せたと思っております。

### ②栄養失調児童救済活動

学校閉鎖に伴い児童への給食支援は一時中断せざるを得ませんでした。学校と協議を重ねた結果、支援の方法を給食から食品配付に変更し、支援対象者も40人追加して、140人を支援しました。この活動は、現在も継続しております。

### ③ボランティア派遣活動

渡航が困難な状況だったため、2020年2月以降派遣は中断しておりますが、地元大学の先生や学生の方々から問い合わせが寄せられており、実施計画の目途が立ち次第早急に再開したいと思っております。

上記の様な実績を残す事ができたのは、日頃からRASAの活動にご理解とご協力頂いております皆様やボランティア活動に参加頂いたOB・OGの皆様のバックアップ及び新聞やSNSでRASAの活動にご賛同頂いた皆様全ての方々の温かいご支援の賜物と心より感謝致しております。

## 3. 今後の活動について

現在RASAのスタッフは将来も3事業の活動を堅持したいという共通認識をもって業務を遂行しております。

しかしながら、年々減少する寄付金、高騰する物価と円安、高齢化するスタッフ等の山積する問題を考えますと不安もよぎります。

特に懸案になっております「寄付金増収対策」としては、

- ・企業、団体等大口寄付先への情報発信
- ・過去のボランティア派遣に参加された方から継続して寄付を頂ける様な取り組み
- ・SNSを効率的に活用した新規会員の獲得
- ・寄付金支払いについて簡易な新システム導入等

打てる対策は早急に着手して参りますので、皆様も良いアイデアや要望事項等ございましたら、どんどんご提案ください。

未来に向けての事業活動は今がまさに正念場と考えており、問題解決のためRASAは一丸となってこの難局に立ち向かいたいと思っております。どうか皆様におかれましてもご協力とご支援のほど宜しくお願い致します。



定時総会の様子

# 令和四年度「特定非営利活動に係る」活動計算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

単位:円

科目	前期決算	当期決算	備考
<b>(資金収支の部)</b>			
<b>I 経常収入の部</b>			
1 会費・入金収入	185,000	200,000	
1) 受取正会員会費	115,000	110,000	会員年会費
2) 受取賛助会員会費	70,000	90,000	
3) 受取団体会員会費	0	0	団体会員年会費
2 事業収入	0	0	
1) ボランティア参加費	0	0	
3 補助金等収入	100,000	1,000,000	
1) 受取助成金	100,000	1,000,000	事業復活支援金
2) 受取補助金	0	0	
4 寄付金収入	7,939,698	5,042,416	
1) 受取寄付金	7,939,698	5,042,416	
5 雑収入	3,653	3,392	
1) 受取利息	16	23	銀行利息
2) 雑収入	3,637	3,369	
経常収入合計	8,228,351	6,245,808	
<b>II 経常支出の部</b>			
1 事業費	10,101,192	3,863,393	
1) 学校建設事業	6,927,354	601,346	
2) 栄養障害児救済事業	3,173,838	3,262,047	
2 管理費	2,726,865	1,926,387	
1) 人件費	503,025	701,600	
給与 手当	503,025	701,600	パート勤務スタッフ1名雇用
2) その他経費	2,223,840	1,224,787	
会議費	66,418	8,301	会議関連費用
旅費交通費	8,460	18,802	運賃等
賄費	69,613	75,535	
通信運搬費	199,735	253,710	郵送料等
事務用品費	186,199	174,604	
修繕費	92,530	130,140	
消耗什器備品費	111,140	0	
水道光熱費	23,850	13,090	灯油
賃借料	409,000	444,000	駐車場他
印刷製本費	27,090	27,086	
諸会費	14,400	24,304	
租税公課	21,912	24,679	収入印紙等
支払手数料	965,855	0	クラウドファンディング
雑費	27,638	30,536	振込手数料等
経常支出合計	12,828,057	5,789,780	
経常収支差額	△4,599,706	456,028	
<b>III 経常外収益</b>			
経常外収益計	0	0	
<b>IV 経常外費用</b>			
1) 過年度損益修正損	0	0	
経常外費用計	0	0	
当期収支差額	△4,599,706	456,028	
前期繰越額	11,204,300	6,604,594	
次期繰越収支差額	6,604,594	7,060,622	

※年次会計報告はホームページにて公開しております。こちらをご覧ください→



## 学校建設とボランティア派遣の再開に向けて

7月13日に2025年2月の学校建設予定地でありますブラカン州「Balagutas Heights Elementary School」を訪問視察してまいりました。大雨により到着時間が3時間遅れましたが、全員が到着を待ち、笑顔で歓迎してくださいました。教育省長官ルネ氏と建設業者のルーシーご夫妻、校長先生他諸先生方と面談しました。

予定地は校舎前の空地で、既存校舎と対面して建設です。面談の中で、RASAの予算は多くても950万円(日本円換算)以内であることをお伝えしました。

しかし、円安の長期化で建設費用の増加や現地建設資材・ガソリン等燃料の高騰により、契約時より建設費用が増加することが懸念されます。

一方、寄付金は年々減少傾向にあるため、詳しく検討していきます。学生ボランティア派遣の再開や支援活動継続のため、建設資金獲得に向かい、具体的に可能な方法で尽力してまいります。

新校舎建設を懇願される校長他諸先生方の思い、そして学ぶ児童たちに対して、実現して応えたいと強く感じました。



### 今後の活動予定

- 8月下旬 食品配付支援 現地新学年度開始
- 9月10日 地球愛祭り2023 in愛知 参加予定
- 10月15日 平針教会バザー 参加予定
- 22日 南山教会バザー 参加予定
- 12月7・8日 南山大学チャリティーバザー 参加予定

### 会員が減少傾向です！活動を支援いただける方、法人・団体を募集しています！

資料をお送りいたしますので、RASA-Japan事務局までご連絡ください。

※「遺贈によるご寄付」、「相続財産のご寄付」は、相続税が免除されます。お志のある方はご連絡ください。

※郵便局・ゆうちょ銀行では現金での払込に加算料金が必要です。詳しくは窓口でお問い合わせください。

### RASA-Japanは皆様の会費と寄付金で運営されています



認定 特定非営利活動法人  
RASA-Japan  
理事長 藤井 典夫

〒468-0014 愛知県名古屋市天白区中平2-2627  
TEL/FAX 052-803-1649  
E-mail info@rasa-japan.com

郵便振替：口座番号 00890-4-31185  
受取人 特定非営利活動法人RASA-Japan

三菱UFJ銀行：平針支店 普通 0037025  
トクテイヒエイリカツドウホウジンラサジャパン

ホームページ

<http://rasa-japan.com>



@rasa\_japan



@rasa.japan



@rasa\_japan

